



令和5年度の地域委員選出に向けて、今年度の地域委員の活動のお知らせと保護者様へのお願いをいたします。

「地域委員で毎朝一緒に歩いているあれでしょう?」「大変そう。うちは無理。」「もし引き受けることになっても活動できるかしら。」とお考えの方にこそ目を通していただきたいです

令和4年度地域委員の仕事

今年度の地域委員は、業務を見直し「できる人ができる時に」を第一に活動してきました。

令和3年度からの引き継ぎを受け、児童の安全は守りつつ日々の活動に取り組んでいます。

今年度の主な活動

- 毎朝の各丁の付き添いの代わり的大通りパトロール（2ヶ月に1度程度）←**New 令和4年度～**
- 年度始めの登校班編成、学期ごとの立ち当番表の作成、資料印刷・配布
- 登校時の付き添い歩き・送り出し（担当制なし できる時にできる人が参加）
- 地域部便りでの情報提供（マメール・PTA ホームページを活用）
- 下校時のパトロール（子ども見守り隊主催の毎週水曜日一斉パトロールに参加、他）



安全な登下校は保護者主体で守りましょう

児童数の減少が予想される中、さまざまな取り組みが見直されているように、地域委員の活動も、児童の安全を守りながらも、活動を無理なくできるものに見直していく必要があると考えます。

この機会に、各ご家庭でもお子様と共に、登下校時における交通ルールや集団マナーを再度確認していただきますようお願いいたします。安全な登下校は家庭の協力が必要です。よろしくお願いしま

す。

「家庭」と「地域」でお子様の安全を見守っていきましょう。



😞（これは地域委員の活動ではありません）

1人で遅れて来た子に学校まで付き添う

具合が悪い子、疲れて歩けなくなった子に付き添う

再三の注意にもかかわらずその行為がおさまらないため、見守りのために付き添う

😊（もしもの時のために）

お子様の体調を第一に考え、登校で無理をさせない

ランドセルやお子様がかかる場所に緊急連絡先が書いてある

お子様が集団で登校していることを自覚し、仲間と協力しようと思えることができる

子どもたちの安全な登下校のために

登下校の主役は子どもです。地域委員は、「学校」、「家庭」、「地域」とが協力して

子どもの安全な登下校を行うための調整役をさせていただきます。



登校中、年下の児童に優しく接したり、時間を守って仲良く登校したりしている

子どもたちの姿が見られる時があります。心が温かくなります。

このように、状況に応じて子どもたちが自ら考え、行動できるということは、

各ご家庭でのしっかりとしたご指導によるものと考えています。

さて、登下校には、地域委員だけでなく、安全リーダーさん、毎朝の立ち当番さん、学校の先生、その他にも多くの人に関わり、大切な朝の時間を使って子どもたちの登下校に協力してくださっています。

ぜひ、主役である子どもたちにも、その協力の大切さを理解してもらいたいです。そのためにも各ご家庭で、再度以下のことをお子様と確認して頂きたいです。

★集合時刻・出発時刻は遅すぎたり早すぎたりしていませんか。

安全リーダーさんや立ち当番の方は、毎朝分刻みでそれぞれの場所を見守り、子どもの登下校を繋いでいます。時間から大幅に外れた登下校は、見守る人が不在になり、事故や連れ去りなどの可能性もあり大変危険です。各分団で出発時間を守って出発することを心がけてください。

★体調不良で登校が不可能になった時の対応はご家庭で確認できていますか。

「お腹が痛い」「もう歩けない」体調不良は突然やってきます。そうなった時に、お子様自身が家の電話番号を知らない、保護者の電話番号も分からないことが多いです。家に繋がらないだけでなく、早朝だと学校も電話が繋がらない場合があります。過去には、救急車を頼むかどうかまでになったこともあります。お子様に必要以上に不安な気持ちを持たせないためにも緊急時のことを各ご家庭で話し合ってください。特に小さい学年の場合は、連絡先を書いておくなど保護者をご準備をお願いします。もし、体調不良で連絡があった時の対応もご家庭で確認をお願いします。

★安全リーダーさんや地域の方に対して礼儀正しく接していますか。

どんな天候の時にもいつも見守ってくださる安全リーダーさん、多忙な仕事をやりくりをして見守りの時間を作ってくださる保護者の方。毎日それぞれの生活から貴重な時間を提供してくださっています。毎日そこにいてくださることは当たり前ではありません。大人も子どもも、それぞれが感謝の思いを持ち、礼儀正しく接し、温かい関係を維持していきたいものです。

★学校で指導されているルールや通学路を守り、協力して登下校できていますか。

「友達がこの道から帰るから。」「他の班の友達がいたから。」仲良しの友達と毎日一緒に登下校したい、話したい気持ちはよくわかります。でも、1000人近くの児童が一斉にそれをしたら…。 「自分くらいいいか。」「ちょっとくらい大丈夫。」と、ルールを変えてまで仲良くする友達がいいのか、ルールや通学路を「しっかり守ろう。」「一緒に頑張ろう。」と励まし認め合える友達がいいのか、子どもが一番よくわかっているはずです。子どもたちを信じて見守ることも大人の役目です。これからも、ルールに関して子どもたちに胸を張って伝えることができるように、大人の正しい姿を見せながら、子どもたちを中心に、より安全で安心な登下校を守っていきましょう。



いつもお疲れ様です。
ありがとうございます。



～地域部は令和5年度の地域委員を募集中です。立候補をお待ちしています。～